

# 2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FE1	科 名	服飾研究科	単 位	2 単位
科目コード		科目名	服飾デザイン論	授業期間	2025/4/14～2025/2/2

担当教員(代表)：布施伊織	共同担当者：
---------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

色彩・形態・コンポジションなど服飾デザインの基礎知識を解説するとともに、演習をとおして分析力・構想力の養成につなげることを目標とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
デザインとは(オリエンテーション)	講義	1	コンセプト・テーマ設定～デザインプロセスの構築 ＝アイデアブックの制作	アイデアブックの制作実習＋点検	2
色彩①色彩の基礎、教材の準備	講義 プリント演習	3	デザイン論的観点による素材	講義	1
色彩②色彩の分類・識別・分析 色の持つイメージについて	講義 プリント演習	2	エディトリアルデザイン解説	講義 プリント演習	1
色彩③色の見え方	講義 プリント演習	1	最終課題制作	実習・点検	4
色彩④カラーコーディネーション	講義 プリント演習	4	デザイナーの PLANNING 分析	講義	2
形態とコンポジション①点・線・面、形態	講義 プリント演習	3	美術・デザイン史概説	講義	1
形態とコンポジション②コンポジション	講義 プリント演習	1	色彩計画	講義	1
最終課題説明 (ポートフォリオ解説)	講義	1	ファッションイメージ	講義 プリント演習	2

## 【評価方法】

出席率、授業内課題の評価、授業姿勢、最終課題の評価

主要教材図書 文化ファッション体系 改訂版・服飾関連専門講座『服飾デザイン論』文化服装学院編

参考図書 『ファッション色彩Ⅰ』『ファッション色彩Ⅱ』(一財)日本ファッション教育振興協会編

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

四大卒後、文化服装学院アパレルデザイン科卒。アパレル企業勤務を経て、アスリートマネジメントを行う会社に8年間勤務。日本美術・西洋美術の知見を用いて美術・デザインを分析的に見る視点をもとに、デザインの方法論を考察・一般化して学生に届ける。

記載者氏名 布施伊織

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FE1	科 名	服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード		科目名	アパレル素材論Ⅰ	授業期間	半期（前期、14 コマ）

担当教員（代表）：田村亜由美	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）  
 アパレル素材（繊維・糸・布地・染色・加工）の種類と性質の基本的な知識とアパレル製品にした際の注意点などを同時に習得させる。

テーマ		方法	コマ数
1. 概論	アパレルにおける素材の重要性について	講義	1コマ
	衣料品の品質表示		
2. 繊維	衣料品に使用する主な繊維の分類、種類と特徴	講義・実習	3コマ
	繊維の鑑別方法 指定用語		
3. 糸	糸の太さと表示 繊維長の分類	講義・実習	2コマ
	単糸・双糸の理解		
4. 布地（織物）	織物と編み物の違い	講義・実習	3コマ
	三原組織と特徴 布地名		
	布地の試験とデータの読み方		
5. 布地（編物・レース）	編組織の種類と性質 布地名	講義・実習	2コマ
	レースの種類と名称の理解		
6. 染色加工	染料と素材の相性	講義・実習	2コマ
	各種加工の名称と目的 染色堅ろう度のデータのよみ方		
7. 衣料品の表示・法律	衣料品に関する品質表示、法率	講義・実習	1コマ
	品質性能		

評価方法：試験と課題を主評価、授業、出席状況を加減対象とする。

## 授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：講義とともに実習やデモンストレーションを取り入れ、アパレル素材の種類と性質を講義、及び及び実習なども含め理解につなげる。

担当教員紹介：文化女子大学（現文化学園大学）卒業、職歴 都内百貨店の品質管理、公的検査機関

主要教材図書：文化ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局

参考図書：「ワークブッカーアパレル素材論」文化服装学院教科書出版部

記載者氏名 田村亜由美